

学生諸君の飛翔を願って



会長 田中則弘 (S4新潟)

役に立てた事を心から嬉しく思っております。

会員の皆様におかれましては、日々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また平素より後援会活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、後援会最大事業であります「地域別教育懇談会」が、支部主催18会場、本部主催4会場にて開催されました。台風の影響が多少あったものの大きな混乱もなく、すべての日程を盛会の裡に無事終了することが出来ました。各支部長はじめ、支部役員、理事の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

出席して頂いた会員の皆様から「先生方から成績表の見方や卒業までの単位の取り方等、詳しく話が聞けて良かった。」「息子の就職活動を親として、どの様にサポートしていったら良いかアドバイスを頂けた。」等の感謝の言葉が寄せられ、この会の開催が皆様のお

また本会には、波多野学長はじめ多くの先生方に各会場に出張して頂き、個人面談では親身になって頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。そして同行し細かい配慮をして下さいました事務局の方々にも本部役員一同心より感謝申し上げます。

大学キャンパスでは、体育館がリニューアルオープンしました。また、本年度の総会においてご承認頂きました本会の特別事業である「北門と学生駐車場の改修」正門から学生駐車場門までの外壁のネットフェンス化と緑地整備として、キャンパスの各門及びバイク・自転車置場に防犯カメラ設置の工事がすべて完了し、環境整備及び防犯安全面についても強化することが出来ました。

後援会は、これからも学生・家庭と大学の懸け橋として会員の皆様のご要望に心を込めて対応すべく、努力と工夫を重ねて参りますので、何卒ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成25年度 地域別教育懇談会 全国22会場で開催し588名が参加

平成25年度の地域別教育懇談会は、支部主催18会場、本部主催4会場の計22会場で開催され、588組の会員にご参加いただきました。支部長をはじめとする支部役員の皆様のご尽力に心より感謝と御礼を申し上げます。

また、出張をお願いした教員も昨年よりさらに増員して、1名の参加があれば出来るだけ、その学科の先生を派遣していただきました。ただし、地域や学科によっては、参加人数に偏りがあり、面談までお待たせしてしまった会員の皆



全体会で挨拶する成田教務部長 (千葉県支部会場)



就職について説明する竹内学生支援部長 (長野県支部会場)

様には、この場を借りてお詫び申し上げます。今後、待ち時間にも退屈しないよう、より充実した企画を実施していきたいと思えます。

そのためにも、参加した会員の皆様アンケートをとつたら良いのではないかと意見が、支部

長会及び事務局の反省会において出されました。これまでも、いくつかの支部においてはアンケートを実施していますが、来年度は、全支部において実施したいと考えていますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

10の支部で支部総会を開催しました

地域別教育懇談会と同日に10の支部で総会が開催されました。この内9支部で支部長が交代し、前支部長には会長より感謝状が送られました。大変お世話になりました。ありがとうございます。

新支部長に就任されたのは次の方々です。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

岩手県支部長 柏原正勝 (E3)

- 茨城県支部長 額賀貞郎 (青E4)
 - 群馬県支部長 田村一郎 (M3)
 - 北陸支部長 尾崎雄一 (M2)
 - 山梨県支部長 上野清彦 (M2)
 - 長野県支部長 鈴木敏正 (M3)
 - 静岡県支部長 眞野弥生 (A3)
 - 近畿支部長 大山 哲 (M3)
 - 東海支部長 立木 守 (E2)
 - 沖縄県支部長 大城末治 (E2)
- 〈敬称略〉

平成25年度地域別教育懇談会実施結果一覧

(M=機械工学科 P=ものづくり環境学科 S=創造システム工学科 E=電気電子工学科 C=情報工学科 A=建築学科 L=生活環境デザイン学科)

主催支部名	月日(曜)	開催市町村	開催会場名	対象地域	会員数	出席者数	出席率	大学側出席者
茨城県支部	9月 1日(日)	土浦市	ホテルマロウド筑波	茨城県	401	70	17.5%	波多野学長 高木准教授(M) 増本講師(M) 丹治講師(M) 鈴木宏典准教授(P) 鈴木敏正教授(S) 佐野准教授(S) 石川教授(E) 吉野教授(E) 山地教授(C) 糸野准教授(C) 石原助教(C) 小川教授(A) 武田教授(A) 黒津教授(L)
本部(北海道)	9月 8日(日)	札幌市	K K R ホテル札幌	北海道	9	2	22.2%	藤田総務部長
本部(四国)	9月 8日(日)	高知市	コンフォートホテル高知駅前	四国	8	5	62.5%	倉島財務部長
本部(九州)	9月 8日(日)	鹿児島市	ホテル法華クラブ鹿児島	九州	8	4	50.0%	磯財務課長
秋田県支部	9月14日(土)	秋田市	秋田温泉さとみ	秋田県	24	14	58.3%	倉島財務部長 岡崎助教(M) 雨宮教授(P) 秋元助教(S) 富山講師(E) 江藤准教授(C) 田中准教授(A)
長野県支部	9月14日(土)	長野市	ホテル信濃路	長野県	66	20	30.3%	竹内学生支援部長 野口准教授(M) 櫛橋准教授(S) 於保教授(E) 高瀬准教授(C) 徐准教授(A) 樋口准教授(L)
静岡県支部	9月14日(土)	静岡市	静岡商工会議所静岡事務所会館	静岡県	54	20	37.0%	有賀教授(M) 安原准教授(P) 滝田准教授(S) 吉田教授(E) 辻村教授(C) 白石教授(A) 武田教授(A)
新潟県支部	9月15日(日)	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県	64	24	37.5%	波多野学長 竹内学生支援部長 八木田教授(P) 飯塚准教授(S) 高橋教授(E) 片山教授(C) 吉村助教(A)
栃木県支部	9月15日(日)	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県	365	83	22.7%	大島教授(M) 神教授(M) 高木准教授(M) 丹澤准教授(P) 佐野准教授(S) 滝田准教授(S) 田村講師(S) 森准教授(E) 木村助教(E) 大田助教(E) 北久保准教授(C) 武藤准教授(C) 白石教授(A) 三坂教授(A)
近畿支部	9月15日(日)	尼崎市	ホテルホップインアミン	大阪府・京都府 奈良県・滋賀県 兵庫県・和歌山県	19	6	31.6%	藤田総務部長 西村教授(E) 菊田助教(A) 樋口佳樹准教授(L)
西中国支部	9月21日(土)	出雲市	ニューウエルシティ出雲	広島県・山口県 島根県	5	3	60.0%	波多野学長 中野准教授(M) 中里教授(S)
東中国支部				岡山県・鳥取県	5	4	80.0%	江藤准教授(C) 佐々木准教授(A)
群馬県支部	9月22日(日)	高崎市	高崎ビューホテル	群馬県	307	49	16.0%	有賀教授(M) 石川助教(M) 鈴木准教授(P) 樋口准教授(S) 於保教授(E) 上野准教授(E) 辻村教授(C) 北久保准教授(C) 那須教授(A) 菊田助教(A) 金野助教(L)
山梨県支部	9月22日(日)	笛吹市	ホテル春日居	山梨県	20	8	40.0%	梅崎教授(M) 三宅教授(S) 宇賀神教授(E) 成田准教授(A) 勝木准教授(L)
北陸支部	9月22日(日)	富山市	富山電気ビルディング	富山県・石川県 福井県	14	6	42.9%	二ノ宮准教授(M) 神野教授(E) 徐准教授(A) 瀬戸教授(L)
東海支部	9月22日(日)	名古屋市	東京第一ホテル錦	愛知県・三重県 岐阜県	8	3	37.5%	細田准教授(M) 高橋教授(E) 勝間田講師(C)
蔵王支部	9月28日(土)	山形市	悠湯の郷 ゆさ	山形県・宮城県	83	33	39.8%	長坂教授(M) 張准教授(M) 小野教授(P) 吉澤教授(S) 神野教授(E) 正道寺教授(C) 糸野准教授(C) 小川教授(A) 金野助教(L)
福島県支部	9月28日(土)	郡山市	清稜山倶楽部	福島県	83	33	39.8%	古閑教授(M) 雨宮教授(P) 伴教授(S) 青柳教授(E) 清水助教(E) 石川教授(C) 田中准教授(A) 勝木准教授(A)
青森県支部	9月29日(日)	青森市	青森国際ホテル	青森県	84	33	39.3%	神教授(M) 貫井講師(P) 櫛橋准教授(S) 西村教授(E) 丹羽准教授(C) 上田助教(A) 黒津教授(L)
千葉県支部	9月29日(日)	船橋市	船橋市勤労市民センター	千葉県	174	21	12.1%	成田教務部長 中野准教授(M) 野口准教授(M) 中里教授(S) 平栗准教授(E) 神林准教授(C) 三坂教授(A)
本部(近県)	10月 6日(日)	宮代町	大学	東京都・埼玉県 神奈川県	2,497	130	5.2%	波多野学長 成田教務部長 竹内学生支援部長 渡部教育研究推進室長 藤田総務部長 倉島財務部長 栗本教務課長 吉見学生支援課長 初見就職支援課長 各科主任8名 M7名,P2名,S3名,E4名,C4名,A3名,L1名,H3名
岩手県支部	10月12日(土)	花巻市	渡り温泉	岩手県	31	12	38.7%	岡崎助教(M) 渡部教授(S) 富山講師(E) 高瀬准教授(C) 成田剛准教授(A)
沖縄県支部	10月13日(日)	那覇市	沖縄県青年会館	沖縄県	10	5	50.0%	藤田総務部長
合計			22会場		4,339	588	13.6%	延べ176名

※職名は開催日現在

平成25年度特別事業完工

「明るく開かれたキャンパス」が完成

キャンパスの北側道路には、以前改修された正門、天神門の他に北門と学生駐車場門があります。正門から西側は古い外壁に囲まれてキャンパス内が見えず、暗い雰囲気でした。そこで、5月の総会においてご承認いただきまし

たこと、今年度の特別事業では、この北門と学生駐車場門を改修し、正門から学生

駐車場門にかけての外壁をネットフェンス化しました。キャンパスの道路に面する門が全てリニューアルされ、外壁が全てネットフェンスとなり、大学キャンパスが、どこから見ても明るく美しく、近隣の住宅街とも調和のとれた景観に生まれ変わりました。

また、学生の安全と防犯の観点から、各門周辺、バイク置場、学生駐車場の計13箇所を防犯カメラを設置しました。昨今の事件事故においては、防犯カメラが事件の早期解決に大きな役割を果たしていることは周知の事実であり、何より犯罪抑止力に繋がることを願うものです。



特別事業委員会による実地検証（11月23日）
（リニューアルした北門）



北門から学生駐車場門にかけての外壁をフェンス化



防犯カメラの映像



学友門に設置された防犯カメラ
（左上、丸型のカメラ）

第4回北東北支部合同OB会



男鹿名物の石鍋に注目！

第4回目となる「北東北支部合同OB会」が7月27日（土）、秋田県男鹿温泉郷にある「セイコーランドホテル」にて開催され、旧交を温めました。

11月2（土）～4日（月・祝）の3日間にわたり、大学キャンパスにおいて若杉祭が開催されました。2日（土）には、ホームカミングデーも開催されました。連日晴天に恵まれ、多くの来場者で賑わいを見せました。

若杉祭 テーマ「LINK」



理事会に68名の理事が出席

11月24日（日）、大学において理事会が開催されました。出席者および議事については、後援会HPに掲載いたしますので、ご覧ください。



SLはやっぱり人気



将来の日工大生（!）

支部連絡協議会(支部長会)



11月23日（土）、大学において支部長会を開催。全国から24名の役員・支部長が出席（学長も臨席）し、地帯等の支部活動について報告・意見交換をしました。



波多野学長からの熱いメッセージ

支部合同大学視察研修を実施

11月2日（土）、栃木県・青森県・秋田県・蔵王・福島県・千葉県の6支部が、3日（日）には、新潟県、群馬県の2支部が大学視察研修に訪れました。

LCセンターにて波多野学長の講話を聴講した後、UHV、英語教育センター、工業技術博物館、太陽光発電等を見学しました。参加した会員からは「このような機会に大学の施設を見学できて良かった」と好評でした。

「もっと英語力を身につけ、多くの知識を得たい」

創造システム工学科1年 種部 千遥

今回のカナダ留学で、私は多くの経験を得ることが出来ました。その中でも最も大きな経験を得させてくれたのは、カナダでの授業です。

カナダでは教室での授業の他に野外授業がありました。その授業では現地の方がその土地の文化や特色を教えてくださいました。毎回教えて頂く方が違うので、話や考え方が一人一人違って、とても興味深かったです。

授業中は勿論ですが、授業以外も話す言葉は英語でした。英語が得意ではない私にとって、この事はとても大変でした。ですが数日経つと耳が慣れ、先生がどんな事を話しているかがよく分かるようになったのです。英語に慣れると、自然と自ら英語で話すようになりました。何より英会話に楽しさを感じるようになりました。

一ヶ月間のカナダ留学で英語が上達したのは勿論ですが、そこの文化に直に触れることで今までの価値観が変わりました。日本に戻っても英語を勉強し続けて英語力を身に付け、また海外に行って多くの知識を得たいです。



2013 実践異文化理解プログラム (夏期カナダプログラム)

8月8日(木)～9月6日(金)にかけて、カナダのアルバート州クローズネスト・パスにある本学のカナダ研修所にて「2013 実践異文化理解プログラム」が実施されました。本プログラムには、男子学生5名、女子学生4名の計9名が参加。1ヶ月間ホームステイをしながら、英会話の授業はもちろん、様々なアウトドア・アクティビティを体験し、異文化に触れてきました。今回、この内3名の女子学生に、研修に参加した感想を寄せてもらいました。



日本工業大学
インターカルチュラル
キャンパス(校舎)

英会話の授業風景



「英語をもっと勉強して気持ちを伝えたい! 分かち合いたい!」

創造システム工学科1年 堀 真由香

カナダの第一印象は、とても広くて自然が多いということでした。空港からNITの研修所まで3時間ほどで到着し、研修所にはホームステイ先のホストファミリーの方々が待っていてくれました。

ホストファミリーの方々と暮らしていくうちに感じたことは、なんて優しく、寛大な心を持っているのだろうということです。カナダの人たちは自然と同じように、心もとても広いのだと気がきました。私は英語を勉強しに来ているのに、英語が通じない時には、何とか伝えようと表現をかえてくれました。本当にありがたかったです。そして自分が情けなく感じました。

それでも、「だんだんとうまくなった」、「1週間前より良くなった」と声をかけてくれて嬉しかったです。そんな中で私は、より英語を勉強したいと考えようになりました。私の中の喜怒哀楽をうまく伝えられるようになったらいいのに、という思いです。そして、感情を表情に出すということも大切であることに気がきました。そこから言葉がついてきたらよいのだということです。しかし、なかなか難しかったです。

また、休日には教会や山に行き、多くの経験をさせていただきました。伝わらなくて悔しくて、モヤモヤした思いが残りましたが、次こそは伝えたい! という思いが自分の中に芽生えました。機会があったら今度は、より勉強してより気持ちを伝えたい! 分かち合いたいです!

Thank you for pretty time!

「文化の違いを実感できた貴重な経験」

創造システム工学科1年 飯島 加奈子

私は「実践異文化理解」を通じて学んだことがあります。特に強く感じたことは、このプログラムの名前にある通り、文化の違いです。一ヶ月間でいくつもの文化の差を感じました。朝食のスタイル、入浴の仕方、食べ物、子育て、買い物など様々な文化の差がありましたが、食べ物関係の文化の違いは特に強く感じました。スーパーに行けば、ほとんどの食材は日本の倍の量、食事の分量も多く、食べ切れないものもありました。けれどカナダ人のアクティブな生活を支えるには、この量がないと過ごせないと感じました。

この他にも多くの事を体験し学びました。意思の伝え方、自然、人々の優しさなど、これからの生活において必要で大切なことを経験させて頂きました。とても充実した一ヶ月でした。



「フランク・スライド」にてイングリッシュ・フィールド・トリップ

内定獲得に向けた就職支援の現場から (保護者のための就職ガイダンスを開催して)

学生支援部長 竹内 貞雄

多くの学生にとって大学を卒業し、社会人としての第一歩を踏み出すために、就職活動を避けて通ることはできません。08年のリーマンショック以降、大学生の就職活動について新聞・雑誌やテレビで取り上げられる事が増えてきました。学生達の就職活動の実態に関わる多くの情報が発信されている一方で、本当に知りたいこと、あるいは応援してやりたい我が子の就職活動の実体が把握できないという悩みもあります。これは親の世代の就職活動と、インターネットを利用した最近の就職活動に大きな違いがあることが原因の一つです。このような情報ギャップを埋めるために、「保護者のための就職ガイダンス」を開催する大学が増えています。本学におきましても昨年の10月に学部3年・4

6月のガイダンスには164組、249名の参加があり、ご夫婦でのご参加、お子さんを同伴された方も多く見受けられました。

最初に厚生労働省埼玉労働局職業安定部長の斎藤明男氏より「新卒者の雇用状況と労働局の取組」について講演をいただきました。埼玉県のハローワークは全国に先駆けて「一所一大学制」と称して、職員ジョブサポーターを本学の就職支援課に毎週水曜日に出張させ、学生の就職相談と求人情報の提供を行っています。特筆すべきは、地方の求人情報をハローワークのネットワークを通じて提供できることです。地方の中小企業は関東圏の大学に求人票を送らずに、地元大学とハローワークに登録することが多いようです。同

ネットワークを利用することで、Uターン就職を希望する学生は帰省することなく、求人内容を確認してアポイントメントをとった上で、効率的な会社訪問を行えるようになります。

このような就職支援だけでなく、内定を取った学生を対象に「知って役立つ労働法」(サービス残業や過酷な勤務シフトの実態の紹介等)に関する説明会も学内で開催しています。

続いて私より、「本学の就職状況について」と題して、就職内定率と就職支援の現状について説明しました。本学の就職支援体制は、1年次のフレッシュマンゼミで、大学での学びのためのモチベーションを高め、2年次からのキャリアデザイン科目の受講で、自己分析、グループワークによるコミュニケーション能力の向上、そして職業感を身につけるカリキュラム構成になっていきます。なお、これらの科目は授業として単位が認定されます。これを土台にして3年次から、就職支援ガイダンスを通じて18回実施しています。詳細につきましては、後援会会員の皆様へと題した「平成24年度就職状況」の冊子を8月にお送りしましたので参照下さい。

例年、初回のガイダンスの出席率は100%近いのですが、回を追うごとに欠席する学生が目立ちます。このガイダンスでは、就職活動の第一歩である履歴書、自己PRの書き方等の指導、次のステップで避けて通れないSPI試験(筆記試験)対策、そして最終関門である面接試験における対策を指導します。これを欠席しては一夜潰れもせずに試験に臨むようなものです。また、自己PRについての添削指導は有料となりますが、是非受けさせてほしいものです。

このようなガイダンスにより就職活動の準備を整えたところで、



満席となった校友会館ホール
(6月15日)

本学学生の採用を希望する企業を招いて「学内合同企業説明会」を12月から都合6回開催しています。多くの参加企業は卒業生を採用しており、その仕事ぶりから「日本工業大学生をまた取りたい」と希望しています。そのため就職者の40%程度の学生が、合同企業説明会に参加した会社に採用されています。この説明会への参加が内定獲得の近道になります。

最後に人事コンサルタントの渡邊剛氏より「我が子の就職活動について親が知っておくべきことは何か」と題した基調講演が行われました。渡邊氏は、企業における採用人事に携わっており、採用側の選考基準、受かる学生・落ちる学生の実状に精通しています。一方で多くの大学で「自己PRの書き方」「面接の受け方」のガイダンス講師としても活躍しています。就職活動の裏も表も知り尽くしたプロであり、一見、完璧なエントリーシートに潜む落とし穴、礼儀正しい面接の終わつた後、ホッとした時に垣間見る何気ない仕事のアンバランスな実例などユーモアを交えて披露され、実際の選考基準と内容を知ることができました。参加者のアンケートでも「もつと聞きたかった」など大変好評でした。この雰囲気や紙面で表現できないのが残念です。大事なポイントとは、「絶対に諦めないこと」、卒業してからじっくり探そうではなく、「卒業までに就職先を決めること」、「中小企業も選択肢の中に入れること」、学生は言葉には出さないものの心の中では親の手助けを望んでおり、「親

は遠慮することなく話を聞いて相談に乗ること」などで有意義な講演となりました。

10月26日に開催した2回目のガイダンスでは、渡邊剛氏の基調講演の内容は、前記内容をベースにより即効性のあるアドバイスが中心になりました。講演後38組71名のうち28組が親子そろって個別面談を受け、今後の取組み方について方針を確認しました。

就職活動は今までもいつも一緒に行動していた仲間と離れて、一人で決断して行動しなくてはなりません。学生の多くは不安を持ち、また面接で上手く話せるだろうかと悩んでいるのが現実です。特に親に対しては、強がりを言うことはあつても弱音は吐きません。このような心理状況では、親からの何気ない一言に傷ついたり、反発したりすることにもなりがちです。適度な距離を保ちつつ、焦らずに就職についての会話を重ねて頂きたいと思えます。地域別教育懇談会でのお話を伺っていると、母親ともメールでやり取りする男子学生が多く、微笑ましく感じられます。日頃からの親子の会話の積み重ねが重要だと考えています。就職支援課では、希望者全員の内定が得られるようスキルアップを支援いたします。ご父母の皆様におきましては、温かい励ましによるお子様の支援をお願いいたします。

